

麦の生育と管理

平成31年3月号

宇佐市農政課

北部振興局集落営農・水田第一班

生育状況に応じた管理を!!

◎11月からの天候と今後の予報

○これまでの天候

- ・出芽後暖冬気味に推移しており、平年に比べ草丈が高く葉齢も平年を上回っています。
- ・適期に播種した所は生育が早く推移しているので、管理作業は遅れないように注意しましょう。

○3月の気象予報(気象庁)

- ・気象庁の予報では、「**気温は平年より高い**」「**降水量は平年並か多い**」と予測されています。
- ・3月は麦の幼穂形成期です。幼穂形成期に湿害にあうと、減収につながりますので排水対策をしましょう。

湿害による麦の被害

滞水期間	3日		3～7日		7～15日		15日以上	
	損傷状況	被害歩合	損傷状況	被害歩合	損傷状況	被害歩合	損傷状況	被害歩合
幼穂形成期	—	10%	下葉の黄変 分けつの減少	30%	下葉の黄変 根腐れ 穂の発育が遅れ 穂数の減少	40%	葉の黄変 根腐れ 出穂遅れ 穂数半減 草丈、穂長が短くなる	50%

S.58 大分県気象災害等による減収推定尺度より

◎排水対策

- ・降雨対策として、額縁排水の四隅や排水口等を繋げるなど排水対策をして下さい。
- ・圃場が乾きにくい状態だと、麦踏み・土入れなどの中間管理を適期に行うのが難しくなります。



裏面へ

◎雑草対策

- ・生育期除草剤を、適期に散布しましょう。
- ・雑草が繁茂すると収量や品質の低下を招きます。例年発生が多くみられる圃場ではこまめに発生状況を見ながら確認し、適期に防除を行いましょう。

生育期除草剤の一例

薬剤名	使用時期	対象雑草	使用量 (10aあたり)	回数	希釈水量 (10aあたり)
ハーモニー 75DF 水和剤	麦1葉期～節間伸長前 (但し、スズメノテッポウ5葉期まで) (但し、カズノコグサ1～3葉期まで)	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	5～10g	1回	100L
		カズノコグサ	10g		
アクチノール乳剤	穂ばらみ期まで (但し、ヤエムグラ4節期まで)	一年生雑草 (休科を除く)	100～200ml	2回以内	70～100L
バサグラン液剤	雑草の3～6葉期 (但し、収穫45日前 ヤエムグラ6節期まで)			1回	

※ラベル等をよく読んで使用してください

大裸麦では使用時期が収穫90日前なので、3月以降の使用は出来ません。



スズメノテッポウ
(5葉期頃)



ヤエムグラ
(4節期頃)

～注意～

表に記載されている使用時期の葉齢は最大葉齢です。雑草が左の画像まで生育してしまう前に除草剤を散布しましょう。

◎穂肥について

- ・穂肥には無効分げつを減らし、子実重やタンパク質含有量を増やす効果があります(表1)。
- ・収量確保のために穂肥を施用しましょう(表2)。

子実重が
38%増加!

表1 穂肥の効果

穂肥	施用量 (窒素 kg/10a)	子実重 (kg/a)
なし	0	29.7
あり	2	41.1

表2 成分の施肥基準(kg/10a)

	穂肥	
	窒素量	施用時期
チクゴイズミ トヨノカゼ	3	茎立期 (7葉期程度)
ミナミノカオリ	5	
ニシノホシ	2	

※出典：水田農業グループ

試験年度：平成12年産 品種：農林61号